

Gorboman News  
だごぼぼはん  
だより

「おかみそり」とも言われ、「仏」「法」「僧」の三宝に帰依し、宗祖親鸞聖人が明らかにされた「教え」に自らの人生を問いたずね、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な儀式です。

帰敬式とは

受式されますと、仏弟子としての名前である「法名」(釋○○あるいは釋尼○○)が授与されます。ともすると、法名は「亡くなつてからいただければよい」と思われているかもしれない。しかし「帰敬式」は、お釈迦さまの弟子(仏弟子)になることであり、法名は、南無阿弥陀仏の教えにみちびかれ、仏道を歩む者となつた新たな名のりです。したがって、生きている「今」受式することに、帰敬式の本来の意味があります。真宗の伝統のなかにこの身を受けた一人ひとりの、人生の新たなスタートとして、「帰敬式」を受けましょう



いまこの人生への問いを出発点として、南無阿弥陀仏の教えに人間としての生きたか方、あり方を問うて学んでいこうという、出発の式が「帰敬式」です。「帰敬式」を受式しますと、「釈」の字を冠した・字の法名をたまわります。それは、空しくない人生を生きてほしいと願つておられるはたらくに出遇うことを、この私の人生の上にあきらかにしていく名告りです。

ともすると、法名は「亡くなつてからいただければよい」と息われているかもしれない。しかし「帰敬式」は、お釈迦さまの弟子、仏弟子になることであり、それは、南無阿弥陀仏の教えにみちびかれてわが人生を生きていくことです。したがって、生きている「今」受式することがその本来の意味なのです。真宗の伝統のなかにこの身を受けた一人ひとりの人生の初たなスタートとして、「帰敬式」をうけとめていきたいものです。

真宗門徒の生活「帰敬式」を受けられる方へより

# 修嚴会経堂

6月17(日) 午前9時30分より

18日(月) 午後4時まで

尼講の御膳付き17日 法話未定

両日とも午前の部 午前9時30分より 午後の部 午後2時より

## 祠堂受付中

お寺の維持を目的とした寄付を祠堂といいますが、身内が亡くなられたことを縁としてされることが多いです。いつすればよいのかと聞かれることがありますが、寄付でするので、しなければいけないこともありません。いつということも決まらなはときにお寺にお持ちいただければよろしいです。また金額も決まってお入れください。祠堂しようというお気持ちがお寺にとつてこの上ない喜びですから。

常入寺では祠堂を頂いた方々に祠堂のお勤めを祠堂経会の初日にまとめてさせていただいています。今年の祠堂経会の時にと思われるのでしたら出来るだけ早くお申し込みください。祠堂経会の当日祠堂にいらしてもお勤めできないこともございます。事ご了承ください。

先般よりお知らせさせていただいてまいりました。二〇一九（平成三十一）年四月二十八日に宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌法要並びに先住職五〇回期法要を勤めさせていただきましたことになっております。そのために法要委員会を立ち上げいろいろ計画を立ててまいりました。そのなかでご依頼をお願いする書面にもありますように念佛を次の世代に伝えるために本堂等を永年相続していく必要があります。そのため瓦の吹き替えなどを行わなければならないということになりました。

ご存じの通り常入寺は規模の小さな寺院であり、おてらの会計だけで修復していくことができるわけでもありません。そのため常入寺に縁のある方すべてのかたに様々なご協力を賜らなければなりません。どうぞ、趣旨にご賛同いただきご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年5月 常入寺住職

青井和成

### 常入寺本堂修復ご懇志ご依頼について

皆様におかれましては、仏法興隆並びに常入寺の維持に平素よりご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

ご承知の通り平成31年4月28日親鸞聖人750回御遠忌法要ならびに前住職50回忌法要をつとめさせていただきます。

現在の本堂は、平成2年に床基礎補強、屋根（北側葺替）及び式台部分を皆様のご協力により修復させていただきましたが、未修復部分の本堂屋根南側及び庫裏屋根等の劣化が激しく雨漏りがしているところもあります。そのため御遠忌法要の記念事業と致しまして、先人たちが大変な思いで相続されてきた本堂を次の世代にも聞法道場として残していくために、本堂等を修復させていただきます。

つきましては、ご多用のり誠に恐縮に存じますが、御趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 一、法要並びに修復御懇志御依頼予定額 2,000万円
- 一、修繕内容 本堂南側屋根葺き替え、奥座敷及び庫裏屋根の葺き替え、畳の入替等内装工事
- 一、法要内容 期日 平成31年4月28日  
午前 記念法話  
午後 稚児行列 法要 獅子舞

以上

平成 30 年 4 月

常入寺住職	青井 和成
法要実行委員長	中川 幸男
本堂修復世話人代表	安川 武志
常入寺門徒総代	吉岡 義春 松田 正人
	世話人一同



発行 真宗大谷派 常入寺

電話 九三〇一〇一六一 富山市東老田七八七  
(〇七六) 四三六一〇八一六  
発行責任 青井 和成  
〇九〇一三七六四一三九八四

LINEはこちらから